

No. 1077

防 災

関東大震災の惨状を写した記録写真63枚が見つかった。武蔵野市では写真展を開き、2度と悲劇をくり返すまいと市民へ防災を呼びかけた。

9月1日、東京墨田区にある震災慰霊堂では豪雨にもかかわらず、一般市民1000人が参加して、しめやかに慰霊式が行なわれた。“防災”を誓い合ったこの日、東京都狛江市では多摩川の堤防が決壊、流失家屋は11戸を数え、付近の住民15,000人が避難する騒ぎとなった。

多摩川が決壊は明治43年以來のことである。濁流の流れを変えるため、取水せきを爆破。しかし、濁流は依然民家の土台をえぐるように流れ、復旧作業は進んでいない。

白昼の大爆発

— 三菱重エビル爆破事件 —

8月30日、午後0時45分頃東京丸の内三菱重エビル玄関附近で突然大爆発がおきた。

昼下がりの人通りの多いオフィス街は一瞬のうちに修羅場と化した。

更に爆風で附近のビルの窓ガラスはほとんど吹き飛び雨のように路上に降った。死者8人重転傷者300人以上という大惨事。怪我人の多くは、降ってきたガラスによるものだ。近代建築の美を誇るビルのガラスは、瞬時に凶器となった。爆発の様子をある人は、“とにかくしょう煙がすごかった。ボンという爆発をモロにうけて、それから少ししてからみると、死体ですか男の人の足が吹き飛んだり、女の人などうつぶせになって倒れていた。”

突然の悲報にぼうぜんとなってかけつける肉親。

特別捜査本部がもうけられ調査がすすむ。

“時限爆弾によるものと考えられます”現場検証が進むにつれ、時限爆弾2ヶが三菱重エビル玄関附近の植木バチの側に仕掛けられたものと判明した。

爆発直前に爆弾を仕掛けたという電話が三菱重エ電話交換室にあった。誰れが何のために爆弾を仕掛けたのか。爆弾によるテロでは史上最大の被害となった今回の爆破事件。こんなテロが許されていいはずがない。